

令和3年度 第1回市民協働推進委員会 議事録

- 1 日時 令和3年7月15日(木) 午後6時00分から午後7時00分
- 2 場所 豊川市役所 本34会議室
- 3 出席者 会長 神谷 典江・・・(特非)穂の国まちづくりネットワーク
代表理事
委員 神保 陽香・・・豊川市青年団協議会常任理事
委員 河邊 浩徳・・・(特非)みんなで豊川市を盛りあげ隊
委員 乙部 法行・・・豊川市連区長会代表
委員 小栗 慎平・・・豊川高校インターアクトクラブ顧問
委員 神藤 晴日・・・一般公募市民
委員 佐原 圭子・・・豊川商工会議所総務課長
委員 森下 保・・・豊川市市民部長
副会長 竹尾 祐三子・・・豊川市社会福祉協議会地域福祉課長補佐
- 4 事務局 市民部次長兼市民協働国際課長、課長補佐、市民協働係長、係員
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事概要

(1)「とよかわ市民協働推進計画」における令和2年度実施施策の評価

【事務局】

とよかわ市民協働推進計画では、「地域と行政がしっかりとささえているまち」の目標を実現するため、4つの基本方針を定め、9つの実施施策、45事業(再掲4事業を含む)を展開しており、計画全体の指標1つと実施施策ごとの指標14の併せて15の目標指標を定めている。評価の方法は、実施施策ごとに目標達成度や効果などを客観的に評価して、9つの実施施策ごとに5段階で評価点をつけて欲しい。

【委員】

コロナ禍の中で、事業の縮小や中止が多くなっている。これを、どのように評価したら良いか。

【会長】

講座等については、コロナ禍ということもあり、あえて参加者を制限して開催している。数字を見て、これしか集まらなかったかと思われるかもしれないが、制限がある中で、換気や消毒などのコロナ対策を行って、やっと開催できたということを加味して評価してもらえば良いのではないか。また、全てを中止したの

ではなく、実施できた事業もあったということが評価に値するのではないか。委員の皆様には、コロナ禍であったということも含めて評価をして欲しいと思う。例えば、指定管理を受けて運営している「とよかわボランティア・市民活動センタープリオ」でも、最近では利用する人も増えてきてはいるが、緊急事態宣言の発令中などは、利用してはいけない時期もあり、利用者はほとんどいなかった。そうした数字も反映されてきている。

【委員】

確かに、数字だけを見てしまうと、これだけかと思ってしまう。

【会長】

メセナへの掲載件数について、1件となっているが、これは市民協働国際課が依頼して掲載してもらった回数である。市民活動団体が依頼して掲載してもらった回数はもっと多い。自分たちの団体でも、年間に3-4件は掲載してもらっている。市民協働推進委員会の委員の中にも、メセナの発行を行っている豊川商工会議所の職員がおり、そうした方がメセナへの掲載に関する働きかけを行っていることで成果が出てきていると思う。

(2) その他

【事務局】

「とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書」における評価書については、事務局で皆様の意見を取りまとめ「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書」、「とよかわ市民協働推進計画実施計画施策評価結果」を作成する。

また、現在、市民協働推進事業補助金について、追加募集を行っており、すでに採択されていた桜木小学校校区会の「桜木校区地域合同防災訓練」が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、補助金の残りが27万3千円となっている。この後、市民協働推進事業補助金の申請があった場合には、9月中までを目途として、第2回の委員会を開催し、委員の皆様にも、公開プレゼンテーションと、今回取りまとめた「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書」、「とよかわ市民協働推進計画実施計画施策評価結果」の内容等を審議していただく。

一方で、市民協働推進事業補助金の申請がなかった場合には、第2回の委員会を開催せず、今回取りまとめた「とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書」、「とよかわ市民協働推進計画実施計画施策評価結果」を郵送するので、書面で内容等を確認いただく。

【会長】

市民協働推進事業補助金について、コロナ禍で中止となった事業もあり、補助金が残っているとのこと。市民協働国際課だけが、申請する団体や協働事業を探しているは大変になってしまう。「こんな事業があるよ。」というものがあれば教えて欲しいと思う。

協働は1回行ってみると「こんな良いことがあった。」という新しい発見があり、次に「もう1回やってみようかな。」という気持ちになる。豊川市では、第6次総合計画の中で、協働が4本柱の1本となっている。皆で共になって、まちをつくっていこうという形になっていかなければいけないと思う。

【委員】

協働事業をやりたいという気持ちがあっても、コロナ禍の中では実施が難しい。今後、ワクチン接種が進んでいく中で、どれくらいの規模で人が集まって実施して良いのかもわからない。また、飲み会等もできないため、新しい役員の方々と交流することも難しくなっている。一緒になってやっていこうという連帯感を持つことなく、形式上だけの会議や、書面上で会議を開催するのでは、相手方の気持ちが全くわからない。以前から知っている人であれば良いが、初めて役員になった人に対しては、いくらリモート等が進んだとしても、直接会わなければ自分の意思を伝えることが難しい。